

5 「資質・能力の育成」に資する指導と評価の在り方

～2ラインのアプローチによる人材育成を軸にして～

大阪府教育センター カリキュラム開発部 小中学校教育推進室

現在、学校では、経験年数の少ない教員の割合が増し、教員の人材育成が急務となっています。そこで、今年度、第5分科会では調査・研究として、2ライン（直接的・間接的）のアプローチを軸にした教員の人材育成をすすめています。今回は、本分科会の調査・研究等に関する小・中学校における実践発表・講演を通して、「今求められる授業」の在り方、そして、「学校力の向上に向けた組織づくり」の在り方について考えます。

実践発表（オンデマンド開催）

国語の授業づくり モデル小学校	書くことに重きをおいた授業づくり ～児童・教員の意識改革をめざして～	河内長野市立 楠小学校
確かな学びをはぐくむ 学校づくり推進校	つきたい力を明確にした授業づくり ～読み取り及び書く指導の工夫～	守口市立 寺方南小学校
スマートスクール実現 モデル校	「1人1台端末の活用」から「資質・能力の育成・発揮」へ	泉佐野市立 第三小学校
学校図書館を充実・活用 するためのモデル校	言語能力・情報活用能力の育成につなげる学校図書館の充実・活用 ～今一度、書籍活用のよさを考える～	高槻市立 第四中学校
小・中学校 指導力向上推進 リーダー養成 長期研修	資質・能力を育む小学校国語科授業づくり ～「話すこと・聞くこと」の実践とミドルリーダーとしての発信～	柏原市立 国分小学校
	思考力、判断力、表現力等の育成を中心とした授業づくり ～子どもの姿から単元計画を考える算数科の実践とその発信～	太子町立 磯長小学校
	資質・能力を育む数学の授業づくり ～学習評価を生かした授業づくりと他の教員と共に学ぶ授業研究～	大東市立 大東中学校
	集団づくりを中心とした外国語活動・外国語における授業実践と発信 ～目的や場面、状況等を具体的に設定した言語活動を通して～	摂津市立 別府小学校

講演（集合開催）

「新しい学びを創り支える学校力の醸成」神戸常盤大学 山下 敦子 教授

・山下先生がお話しされた、学校の取り組みは打ち上げ花火ではなく、醸成されるものであるという内容が、今回の実践発表ともつながり、鮮明なものになりました。

・講演でおっしゃられた「子どもたちに付けさせたい力→自分事として捉える力」が、自分が教育活動を行う上で感じていたところだったので、共感できました。

・どの実践報告でも、担当者がまず学校の課題や現状を把握した後、方向性や取組みを計画・立案し、それを校内研究や通信等で分かりやすく先生方に周知することから進めていました。学校全体で、ビジョンの共有や授業改善をなされているのが印象的でした。